

科目名 (科目番号)	救命救急医学概論 (時間割参照)	教員名 梁川 範幸 根本 広文 他	学科等	診療放射線	選択	履修年次	2
			曜日・時限等	時間割表参照	単位数	1	
			オフィスアワー		各担当教員シラバス参照		
授業概要	医療の原点である救急医療は、医療従事者として必須の学習項目である。この講義では救急医学と救急医療に関する内容を学習する。基本項目としては医療の原点としての救急医療と救急医学、救急処置、ショックと生体反応、重症救急患者の管理、救急医療と脳死などについて学習する。特に診療放射線技師に必要な救急撮影について深く学習する。1次救命処置（BLS）の講習も行う。						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	初期診療手順とCT撮影 (梁川)	到達目標:救急医療の概論, 初期診療, CT撮影の必要性などを理解する。 学習内容:救急医療の概論, 初期診療, CT撮影の必要性などについて学習する。				
	2	救急撮影ガイドライン (胸腹部, 骨盤の外傷撮影) (梁川)	到達目標:胸腹部, 骨盤の外傷に対する一般単純撮影やCT撮影を理解する。 学習内容:胸腹部, 骨盤の外傷に対する一般単純撮影やCT撮影について学習する。				
	3	救急撮影ガイドライン (頭頸部の外傷撮影と全身CT撮影) (梁川)	到達目標:頭頸部の外傷に対する一般単純撮影やCT撮影と全身CT撮影を理解する。 学習内容:頭頸部の外傷に対する一般単純撮影やCT撮影と全身CT撮影について学習する。				
	4	救急撮影ガイドライン (脳卒中, 急性腹症の撮影) (梁川)	到達目標:脳卒中, 急性腹症の病態を学習し, その一般単純撮影やCT撮影を理解する。 学習内容:脳卒中, 急性腹症の病態を学習し, その一般単純撮影やCT撮影について学習する。				
	5	成人の救命処置、薬剤投与 (山越)	到達目標:蘇生時に使用する薬剤の効能を理解する。 学習内容:救命処置薬剤投与の具体的な方法や注意点を学習する。				
	6	災害時派遣医療チーム (DMAT)について(五月女)	到達目標:災害急性期に活動できるトレーニングを受け、機動性を持った医療チームについて理解する。 学習内容:災害時派遣医療チーム(DMAT)の活動について学習する。				
	7	総括授業1(救急救命処置の実施) (救命救急士)	到達目標:訓練を通して、普通救命講習修了証を習得する。 学習内容:救命処置の実施研修を行う。				
	8	総括授業2(救急救命処置の実施) (救命救急士)	到達目標:訓練を通して、普通救命講習修了証を習得する。 学習内容:救命処置の実施研修を行う。				
成績評価の方法・基準	実技の評価(40%), 期末試験(60%)で総合的に評価する。						
教科書	改定5版 応急手当講習テキスト 救急車が来るまでに		救急振興財団		東京法令出版		
参考図書	救急撮影ガイドライン(改訂第2版) 救急蘇生法の指針2010		日本救急撮影技師認定機構 日本救急(医団)心肺蘇生法委員会		へるす出版 へるす出版		
教員からのメッセージ	診療放射線技師として救急医療の知識は不可欠です。放射線業務に大きく関与してきます。さらにBLSの技術習得は重要です。						